

## 第1回検討部会での主な意見

## &lt;床上浸水対策特別緊急事業検討部会(日下川)&gt;

発言者	意見	設計ページ
島委員	○ 工事施工前の地下水位を変えないため、覆工コンクリートに水圧をかけている。この応力計算をフレーム解析だけでなく有限要素解析を用いて精度を高めて解析してはどうか。	P32～P46
近藤委員	○ 最近では工法選択において安全面よりコストが優先されることがあるので、安全第一でコストカットできる工法を選択する議論をしたいので、工法選択において安全性の評価を加えてほしい。	P16 P18 P22 P56～P57 P59 P61 P63 P66～P67 P75
	○ パイプルーフ工法やずりの出し方など、その工法を選択した経緯や他の工法との比較した結果を次回の検討部会で示してほしい。	P25
原委員	○ 吐口位置で法面が崩壊したような跡も見られるので、この箇所の工法について脆弱地盤であることを踏まえて説明してほしい。	P68～P73
	○ 道路法面のアンカー施工の考え方を情報収集して検討してほしい。	P68～P69
	○ 一般的なNATMだと中央排水溝で水を流すが、今回はそこを締め切るため、ウィーブホールを使用している。流出される濁水には、シルトなど細砂が混ざり、開閉部に詰まり、作動しない恐れがあるため、ウィーブホールの維持管理について示してほしい。	P111～P114
	○ 浮力で働くウィーブホール以外の対策工として何があるのかコスト・維持管理の面から示してほしい。	P115
岡田委員	○ 放水路周辺の水利用の実態のデータを示してほしい。	P96～P101
	○ 吐口の取り付け位置について、仁淀川の流れの向きから下流に向けるということだが、当該箇所は近年も土砂が堆積傾向があるかどうかも含め検討してほしい。	P76～P86
	○ 過去に放水路を建設した後から河道の変遷等を確認し、今後、土砂の浚渫などの維持管理が必要になるかについても確認してほしい。	P81～P86

## &lt;床上浸水対策特別緊急事業検討部会(宇治川)&gt;

発言者	意見	設計ページ
	特になし	—